

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	城陽警察署移転新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府城陽市寺田庭井24-1、25-1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2018年8月8日
敷地面積	4,045 m <sup>2</sup>	作成者	(株)エネ・グリーン
建築面積	1,135 m <sup>2</sup>	確認日	2018年8月8日
延床面積	3,427 m <sup>2</sup>	確認者	(株)エネ・グリーン



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.6

### R 環境負荷低減性

**LRのスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
安全・安心を軸とした、あらゆる状況に対応できる機動性と機能性を兼ね備えた警察署の移転新築計画。いきいきとした周辺環境や、環境のまちなみ京都にふさわしい地球環境とユニバーサルデザインに配慮している。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 高い昼光率の確保や機能性を重視した照度設定、リモコンによる照明制御など光・視環境に配慮した計画。	<b>Q2 サービス性能</b> Qu/Qun≥1.5の耐震性をもち、外壁仕上・給排水管材に長寿命のものを採用。階高及び壁長さ比の数値より、対応性・更新性に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 機能性を重視した外構計画。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明など高効率設備を採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型洋便器及び自動水栓採用により節水に努めている。積極的なLGS工法の採用やOAフロアの導入により部材の再利用可能性の向上を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な駐輪駐車施設の確保。光害の抑制にも配慮した計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される